

平成25年度

かごしま市予算のすがた



目 次

- 25年度の鹿児島市当初予算額 ……P1
- 当初予算額の内訳 ………………P2
- 一般会計当初予算額の内訳 ……P2
- 25年度の主な事業 ………………P5

予算って何のこと？

皆さんのご家庭では、給与やアルバイトなどいくらもらえるか、また食費や教育費、電気代などがどれくらいかかるなどを計算しながら、家計をやりくりしていることだと思います。また、お子さんであれば、おこづかいやお年玉の使い方を、いろいろと考えるでしょう。

国や地方自治体も同じように、1年間の収入と支出を計算して、どのような仕事にいくらお金を使うかを決めています。この入ってくるお金(歳入)と出していくお金(歳出)の計画を『予算』といいます。

『予算』を見ると、鹿児島市の家計事情や仕事の中身が分かる仕組みになっています。市民の皆さんに鹿児島市の予算を知りたいことは、市民の皆さんのが主人公であるまちづくりの出発点です。



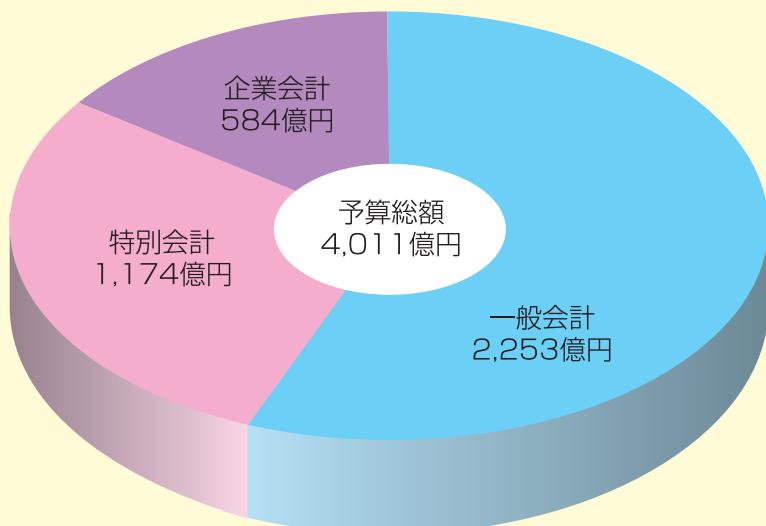
予算はどうやって決めるの？

福祉、教育、ごみ処理、道路整備など、市役所がやらなければならない仕事はたくさんありますが、皆さんによりよい生活を送るために何をしたら良いか、市役所の各部署で検討し、市民の皆さんとの意見や要望をできる限り反映させて予算の素案を作成します。市長は、その素案をもとに、使えるお金には限りがある中で総合的な判断を加えて予算案をまとめて市議会に提案します。

市民を代表する市議会は予算案をいろいろな面から審議したうえで、議会の議決により予算を決めます。

25年度の鹿児島市当初予算額

「一般会計」では2,253億円、「特別会計」「企業会計」を合わせると4,011億円になります。



会計とは？

特定の収入（国民健康保険税、介護保険料など）がある事業については、お金の出し入れを分かりやすくするために、お財布を分けて管理する必要があります。このお財布のことを「会計」といいます。大きく分けて3つの会計があります。

一般会計

市の会計の基本であり、福祉、医療、教育や道路・公園の整備など基本的な行政サービスを行う会計です。主な収入は、市税や国・県支出金などです。（2ページ参照）

特別会計

特定目的のための会計で、国民健康保険税や介護保険料など特定収入があり、一般会計から切り離して、その収入・支出を管理します。鹿児島市には9の特別会計があります。

企業会計

地方公営企業（市立病院、交通局、水道局、船舶局）の会計。鹿児島市には6の企業会計があります。民間企業と同じように、事業で収益をあげて運営しています。

鹿児島市の特別会計

- 土地区画整理事業清算
- 中央卸売市場
- 交通災害共済事業
- 地域下水道事業
- 桜島観光施設
- 国民健康保険事業
- 介護保険
- 後期高齢者医療
- 母子寡婦福祉資金貸付事業

鹿児島市の企業会計

- 病院事業
- 交通事業
- 水道事業
- 工業用水道事業
- 公共下水道事業
- 船舶事業

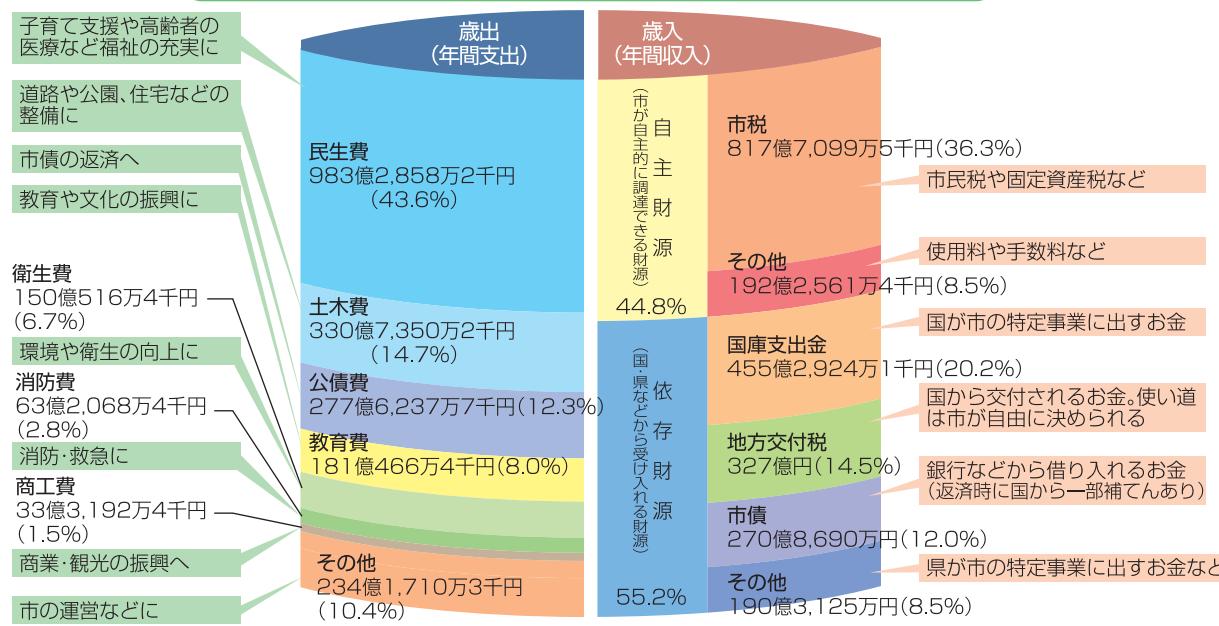
当初予算額の内訳

当初予算総額4,011億2,800万円

会計名	予算額	前年度との比較
一般会計	2,253億4,400万円	0.8%増
特別会計	1,173億7,300万円	1.9%増
土地区画整理事業清算特別会計	4,410万円	皆増
中央卸売市場特別会計	6億4,690万円	15.5%増
交通災害共済事業特別会計	230万円	64.6%減
地域下水道事業特別会計	7,460万円	3.1%減
桜島観光施設特別会計	1億1,500万円	35.0%増
国民健康保険事業特別会計	677億3,960万円	0.2%増
介護保険特別会計	419億9,950万円	5.1%増
後期高齢者医療特別会計	64億5,940万円	2.2%増
母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	2億9,160万円	46.8%減
土地区画整理事業用地取得特別会計	0万円	皆減
企業会計	584億1,100万円	1.2%減
病院事業特別会計	195億1,500万円	1.0%減
交通事業特別会計	75億6,400万円	25.5%増
水道事業特別会計	179億3,260万円	2.9%減
工業用水道事業特別会計	1,060万円	20.9%減
公共下水道事業特別会計	106億2,380万円	12.4%減
船舶事業特別会計	27億6,500万円	0.5%減
合計	4,011億2,800万円	0.8%増

一般会計当初予算額の内訳

一般会計当初予算額2,253億4,400万円





①一般会計当初予算額と人口の推移



財源の確保に努め、健全財政を維持しながら「人・まち・みどり みんなで創る“豊かさ”実感都市・かごしま」の実現に向け、「もっと前へ！“力強く”、“積極的な一步”を踏み出した」予算編成としました。



②市民1人当たりの予算の使い道は？

一般会計当初予算額2,253億円の使い道を市民1人当たりに換算してみました。

市民1人当たりの 予算約37万円の使い道

※人口609,485人で計算(25年1月1日現在)

○子育て支援や高齢者の医療など福祉の充実に
約16万1千円



○道路や公園、住宅などの整備に
約5万4千円



○市債の返済に
約4万6千円



○市の運営などに
約3万5千円



○教育や文化の振興に
約3万円



○環境や衛生の向上に
約2万5千円



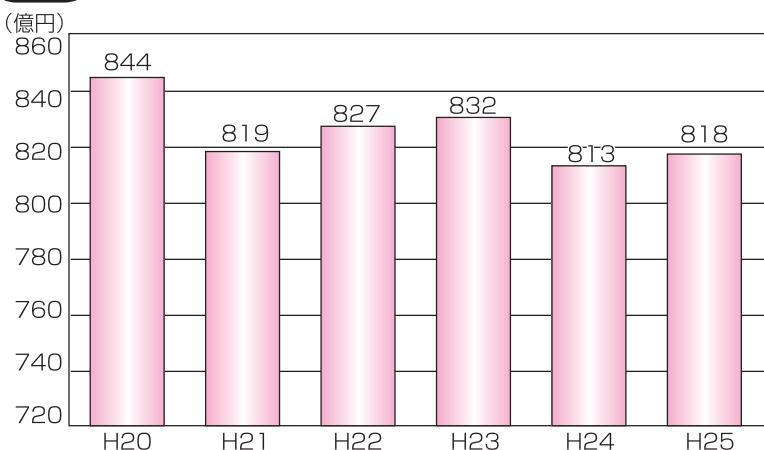
○消防・救急に
約1万円



○商業・観光・農林水産業の振興に
約9千円



③市税の推移

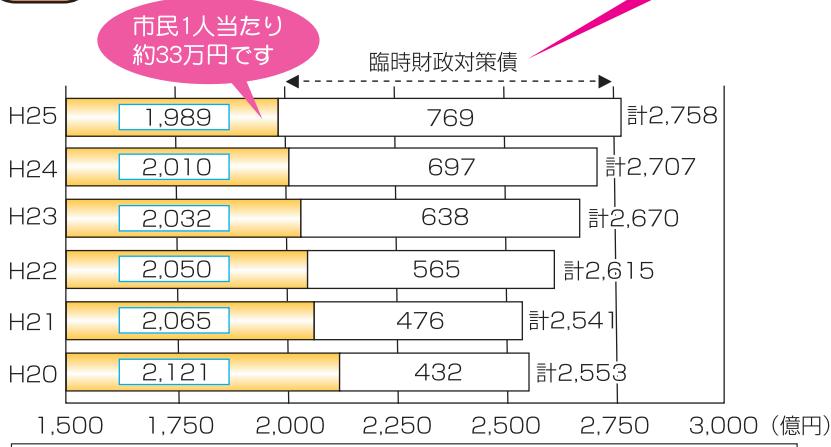


市民1人当たり
約13万円です

市税には主に市民税や固定資産税、都市計画税などがあります。皆さんに納めていただいた市税は歳入の約36%を占めており、鹿児島市のまちづくりを行うための最も重要な財源となっています。市税は使用目的の制限は特に設けておらず、必要な行政サービスに大切に使われています。



④市債残高の推移



本来は交付税として国からもらえるお金を国の財政上の都合で市が借り入れているものです。返済は全て国の負担です。

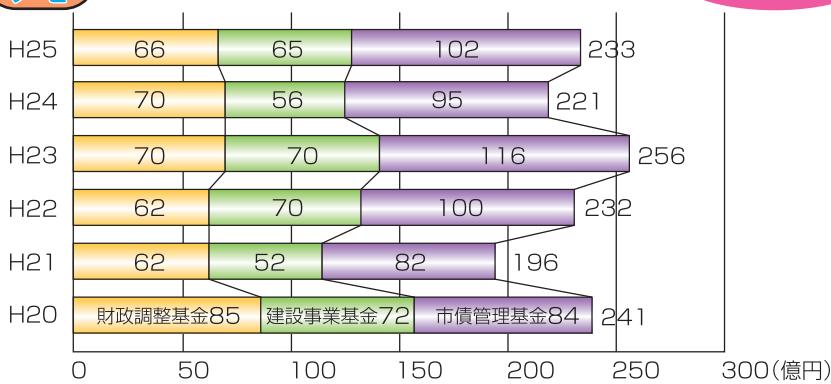
どうして借金しなければならないの？

市債は借金ですから、無いに越したことはありません。でも、公園や道路、学校など公共施設の整備に必要なお金を1年間の予算でまかなってしまった、その年は他の仕事が出来なくなってしまいます。

公共施設はこれから長い間、たくさんの人が利用する訳ですから、将来の市民の皆さんにも公平に費用を負担していただくために、市債を発行しています。ただし、借入が多くなればなるほど返済が大変になりますから、鹿児島市は計画的な市債の発行に努めています。また、返済する時に国から交付税が配分される市債の借入を優先するなど、本市の負担を減らすことができるよう努めています。



⑤基金残高の推移



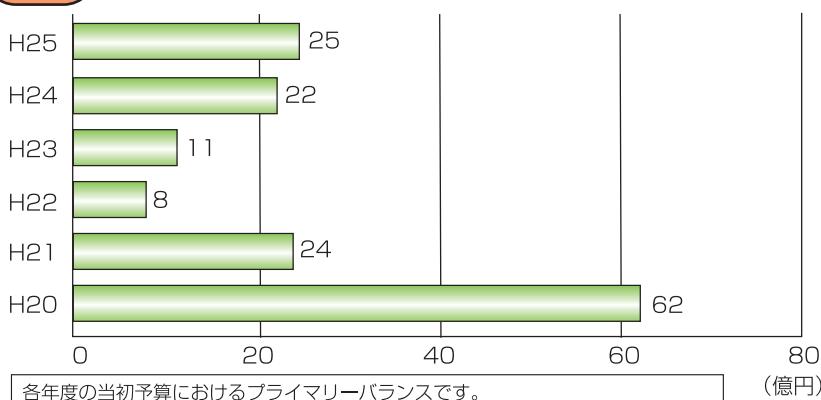
基金って何だろう？

鹿児島市には、土地や建物、物品や債券などさまざまな財産のほかに、一般家庭の貯金に相当するさまざまな「基金」があります。

市の貯金である基金のうち、財政調整基金、建設事業基金、市債管理基金の3基金については、必要に応じて積立てや取崩しを行いながら、健全な財政運営の維持に努めています。



⑥プライマリーバランス(基礎的財政収支)の推移



25年度は約25億円の黒字です

プライマリーバランスって何だろう？

借金(市債)を除いた歳入と返済(元金)を除いた歳出を比較したもので、歳入のほうが多いければ黒字となり、財政が健全であることを示します。

借金の累積を防ぐためには、このプライマリーバランスの黒字が必要で、鹿児島市は厳しい財政状況の中、黒字を維持し続けています。

25年度の主な事業

もっと前へ！「市民が主役の鹿児島市の実現」



創ります！

人が行き交う魅力とにぎわいあふれるまち

守ります！

健やかに暮らせる安全で安心なまち

進めます！

水と緑が輝く人と地球にやさしいまち

支えます！

地域産業が元気で生き生きと働くまち

育みます！

学ぶよろこびが広がる誇りあるまち

高めます！

市民生活を支える機能性の高い快適なまち

つむぎます！

市民と行政が拓く協働と連携のまち

1 創ります！ 人が行き交う魅力とにぎわいあふれるまち

■まちの魅力を高める

- 路面電車観光路線検討事業
(2,993万1千円)

- 桜島・錦江湾ジオパーク推進事業
(1,743万1千円)

- もっとイルカに会える事業
(1,059万2千円)

■市民・観光客みんなが楽しめるイベントの開催

- 明治維新150年“維新のふるさと鹿児島市”PRキャラバン隊宣伝活動事業(3,251万円)

- IAVCEI(ヤブセイ)2013開催支援事業(750万円)



■かごしまの魅力を国内外へ伝える

- 新聞雑誌記者招聘事業
(183万7千円)

首都圏などの記者を本市の観光素材の体験取材に招待し、取材した内容を各媒体に掲載してもらうことで、本市の魅力をPRします。

- 映画撮影等誘致支援補助金
(1,000万円)

■国内外との交流

- 都市農村交流施設整備事業
(3億7,576万1千円)

松元地域の県茶業指導農場跡地を活用した都市農村交流施設の整備を進めます。



都市農村交流施設イメージ

2 守ります！ 健やかに暮らせる安全で安心なまち

■生命・財産を守る防災力の充実

- 避難対策事業(1,539万5千円)

- 原子力災害対策事業(569万円)

■医療の充実と市民の健康づくり

- 高齢者肺炎球菌予防接種事業
(4,232万1千円)

■子育てをするなら鹿児島市

- 保育コーディネーター配置事業
(563万4千円)

- 認可外保育施設保育料補助金
(7,278万9千円)

- 幼稚園2歳児預かり保育運営費補助金
(1,410万4千円)



- 親子つどいの広場整備事業(2億2,433万6千円)

南部・北部地域に親子つどいの広場を整備し、南部は25年12月から、北部は26年度前半に供用を開始します。

- こども医療費助成事業(11億4,536万円)

■高齢者が生き生きと元気に暮らせるまちづくり

- 高齢者いきいきポイント推進事業(790万2千円)

- ひとり暮らし高齢者等安心通報システム設置事業
(4,772万5千円)

■障害のある方へのきめ細かな福祉の充実

- 障害者基幹相談支援センター事業(2,757万1千円)

- 児童発達支援事業専門員加算等補助金(2億5,886万2千円)

■安全・安心を実感できるまちづくり

- セーフコミュニティ推進事業・対策事業(853万8千円)

3 進めます！ 水と緑が輝く人と地球にやさしいまち

■再生可能エネルギーの利用促進

- 再生可能エネルギー導入促進事業
(717万4千円)
- 公共建築物省エネルギー推進事業
(332万1千円)
- ごみの減量化・再利用と環境にやさしいまちづくり
- 電気自動車充電インフラ整備事業
(657万6千円)
- 自転車走行ネットワーク形成事業
(3,030万円)



■まちの緑を増やし、うるおいあるまちづくり

- グリーンファサードアベニュー調査事業(720万円)
鹿児島中央駅から朝日通り交差点間の電車通りに面している既存民間建築物の壁面緑化に向けた可能性調査をします。
- 城山公園自然の森再生事業(150万3千円)
文化財に指定されている城山公園の植生などの現況調査に基づいて、保全計画を策定します。



城山公園

4 支えます！ 地域産業が元気で生き生きと働くまち

■雇用の場を増やし、生き生きと働くまちの実現

- 新規創業者等育成支援事業
(776万円)



■中心市街地の活性化

- いづろ・天文館地区回遊空間づくり
推進事業
(973万円)

■地元企業・商店街を元気にし、新たな産業を創る

- クリエイティブラント育成支援事業
(1,396万8千円)

デザイン産業の人材育成や商工業者のマーケティング力の向上・製品などの競争力の強化を図ります。

■豊かな自然を生かした活力のある農林水産業

- 農林水産物地産地消推進事業
(266万4千円)
- 新規就農者支援対策事業
(688万2千円)



市内農産物旬のキャンペーン

5 育みます！ 学ぶよろこびが広がる誇りあるまち

■生きる力を育む教育

- 次世代を切り拓く青少年育成事業
(669万4千円)



■いじめから子どもたちを守る

- 臨床心理相談員活用事業
(1,564万5千円)

■学びを支援する教育環境

- 学校を活用した地域交流・にぎわい拠点推進事業(51万円)

■ずっと学び、ずっとスポーツをすることを応援

- 郡山体育馆(仮称)建設事業(3,096万円)

■人と地域を元気にする市民文化の創造

- 文化薫る地域の魅力づくりプラン推進事業
(2,780万8千円)

本市ゆかりの美術、音楽、地域伝統芸能を生かしたイベントなどを実施します。

■一人ひとりの人権の尊重と男女共同参画社会の推進

- 男女共同参画推進条例制定事業
(34万8千円)



6 高めます！ 市民生活を支える機能性の高い快適なまち

■魅力ある都市空間づくり

- 鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業(6,086万円)

- 鹿児島中央駅周辺一帯的まちづくり推進事業
(714万7千円)

- 谷山地区連続立体交差事業
(30億3,080万2千円)

■良質で快適な生活環境づくり

- 安心快適住宅リフォーム支援事業
(3億1,274万3千円)



リニューアル後の谷山駅イメージ

- 子育て支援住宅整備事業
(897万9千円)

■市民生活や企業活動を支える交通環境の充実

- 交通局施設リニューアル事業
(19億2,689万円)



新交通局イメージ

7 つむぎます！ 市民と行政が拓く協働と連携のまち

■自主的・自立的な行政運営の推進

- 弁護士有資格者の採用
(11万4千円)

■健全な財政運営の維持

- 戸籍・住民票等の郵便・公用請求業務委託事業
(2,593万3千円)

■便利で親切な市役所

- コンビニ交付システム構築事業(1,480万9千円)
- コンビニ交付による証明発行事業(511万3千円)

■市民の皆さんと一緒に活力ある地域づくり

- 町内会加入きっかけづくり支援事業
(180万円)



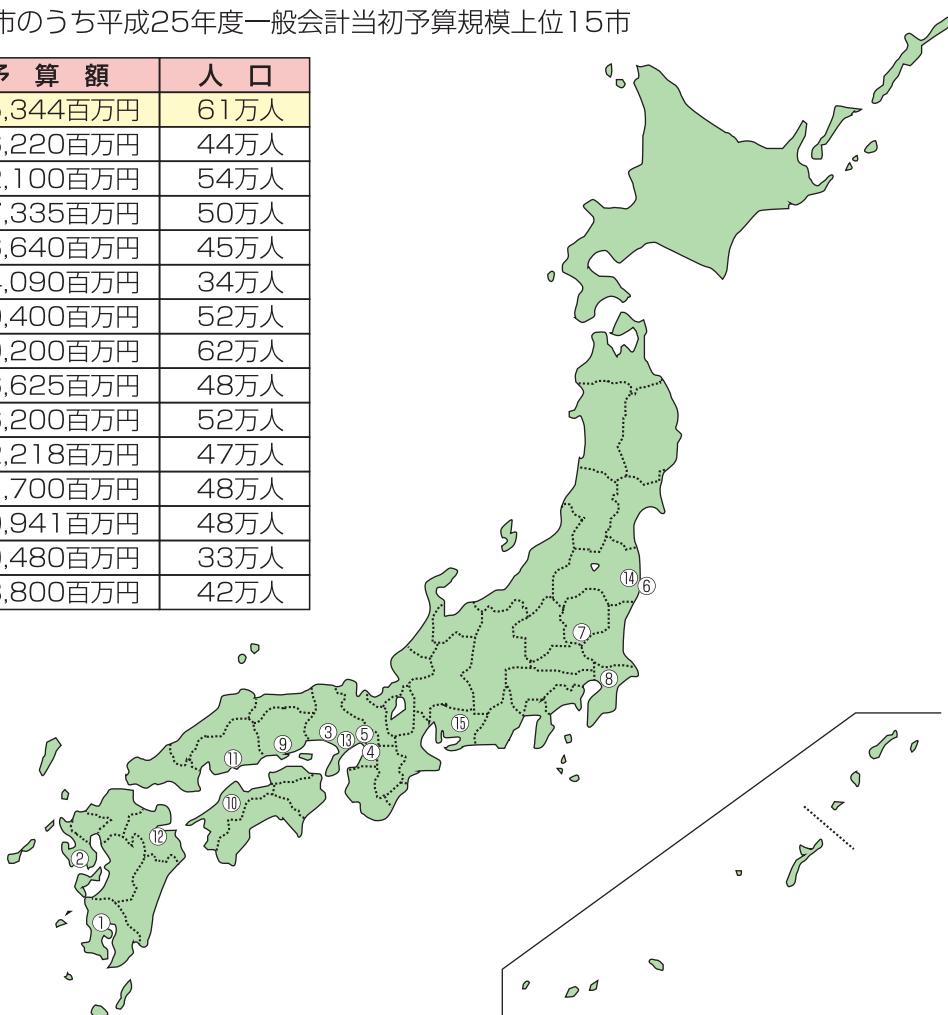
町内会は住みよい地域づくりの推進役



⑦鹿児島市の予算を他の中核市と比べると

中核市42市の中のうち平成25年度一般会計当初予算規模上位15市

都市名	予算額	人口
① 鹿児島市	225,344百万円	61万人
② 長崎市	216,220百万円	44万人
③ 姫路市	212,100百万円	54万人
④ 東大阪市	197,335百万円	50万人
⑤ 尼崎市	196,640百万円	45万人
⑥ いわき市	184,090百万円	34万人
⑦ 宇都宮市	180,400百万円	52万人
⑧ 船橋市	179,200百万円	62万人
⑨ 倉敷市	166,625百万円	48万人
⑩ 松山市	166,200百万円	52万人
⑪ 福山市	162,218百万円	47万人
⑫ 大分市	161,700百万円	48万人
⑬ 西宮市	160,941百万円	48万人
⑭ 郡山市	159,480百万円	33万人
⑮ 豊田市	158,800百万円	42万人



～「かごしま市予算のすがた」の作成に当たって～

「予算」という言葉は知っているけど、その内容については、専門的で分かりにくいという印象を持たれている市民の皆さんも多いのではないでしょうか。

「市民との協働のまちづくり」を進めていくためには、市民の皆さんの生活に深く関わっている鹿児島市の予算を知っていただくことが大切です。

地方財政を取り巻く環境がますます厳しさを増す中で、「予算」のことを少しでも身近に感じていただくため、分かりやすい表現を心がけた「かごしま市予算のすがた」を作成しました。

この冊子によって、市民の皆さんのが鹿児島市の予算に興味を持っていただき、少しでも身近に感じていただければ幸いです。

★鹿児島市の予算や財政に関する情報は市ホームページをご覧いただけます。

<http://www.city.kagoshima.lg.jp/> 【トップページ】⇒【市政情報】⇒【財政状況】からアクセスしてください。

平成25年度 かごしま市予算のすがた

編集・発行／鹿児島市財政課

〒892-8677 鹿児島市山下町11-1 電話099-216-1155